



確かな学力の向上をめざして【6月】

■令和5年度中部版スクラム教育事業（第6期）

～今年度も中部地区でスクラムを組んで取り組みます！～

今年度も中部地区学校教育関係者でチームを作り、中部地区における「子どもたちの確かな学力の向上」と「不登校及び問題行動」等の教育課題の解決を目指して取り組みます。

中部版スクラム教育事業は、中部地区5市町教育委員会、小中学校長会、高等学校課、中部教育局でスクラムを組み、平成24年度から取り組んでいる事業で、令和4・5年度は「第6期」となります。スクラムを組む各機関が相互に連携を深め、中部地区の児童生徒や先生方にとって有益な取組を進めていきます。 ※2年を1期とする

【取組の3つの柱】

- GIGAスクール構想における学習活動等の充実
- 研究推進の活性化
- 教職員の指導力向上

【取組内容】

- ・研究主任等研修会
- ・生徒指導担当者会
- ・研究主任訪問
- ・講師訪問

ほか



■児童生徒の英語力向上を目指した取組（県事業）

～英検IBA(4技能型)、英検ESGの取組が始まります！～

今年度から、児童生徒の英語力向上と教師の指導力向上を目的として、中学3年生での4技能型英検IBAと小学校での英検ESGの取組が始まります。児童生徒や教師が、身に付けた英語力を「英検相当級」や「CSEスコア（英検独自の英語能力評価尺度）」を基に客観的に把握することができ、英語学習や授業改善の推進に活用することが期待されています。（英検ESGは希望する学校のみで実施）

4技能型英検IBA （全中学3年生）

「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」の4技能の力を測るテストです。「話すこと」テストは、タブレット端末に録音する形で行います。各学校で6月中旬～7月下旬に実施します。

2技能型英検IBA （全中学1・2年生）

「聞くこと」「読むこと」の2技能の力を測るテストです。テストの結果は「英検相当級」と「CSEスコア」で個別に返却されます。各学校で10月～11月に実施します。

英検ESG （希望する学校の小学6年生）

授業で使用するワークシート等（指導パッケージ）と、年度末に「聞くこと」「読むこと」の2技能の力を測る教材（確認パッケージ）から成ります。テストの結果は「英検相当級」と「CSEスコア」で個別に返却されます。

この他、AI型英語学習アプリ「スタディギア for EIKENベーシック」の運用も始まります！

■幼保小接続を基盤とした学びの連続性

～幼保小合同研修会、幼保小連絡会の開催で連携・接続を深めましょう！～

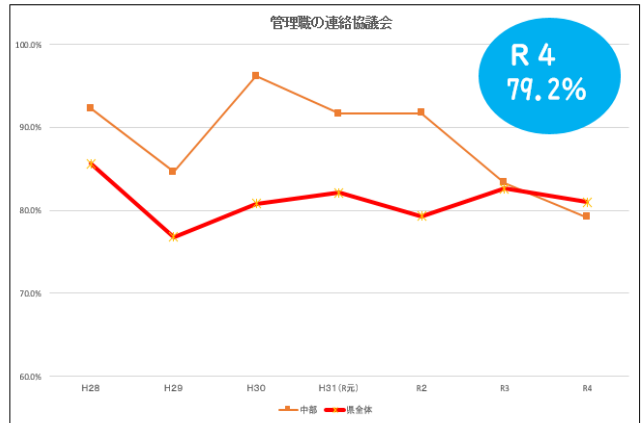
中部地区では、幼保小合同研修会や保育体験、連絡会等を通して、「顔の見える連携・接続」を継続してきました。しかし、近年のコロナ禍の影響もあり、取組がストップしてしまったり、延期したりせざるを得ない状況がありました。（右グラフ参照）

今年度は、これまで中部地区で大切にしてきた「顔の見える連携・接続」を再開するチャンスです。早めに計画を立てて実施することで、ぜひ連携・接続を深めていただきたいと思います。

合同研修会等の取組に、県の幼保小接続アドバイザーを派遣することができますので、希望する場合は中部教育局・幼児教育担当までご連絡ください。

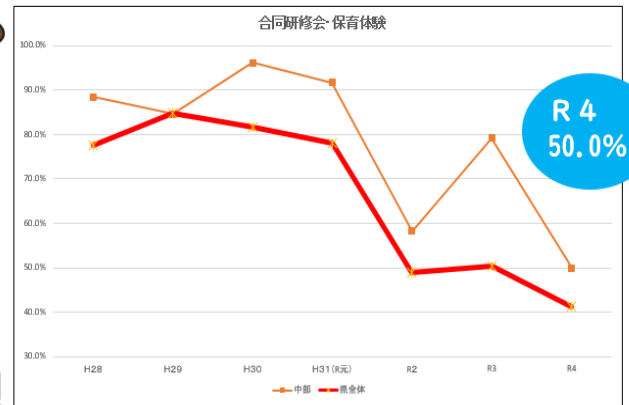
中部の幼保小連携・接続の状況（管理職の連絡協議会）

学校教育実施状況調査(小学校)



中部の幼保小連携・接続の状況（合同研修会・保育体験）

学校教育実施状況調査(小学校)



幼保小接続を「顔の見える連携・接続」にするために

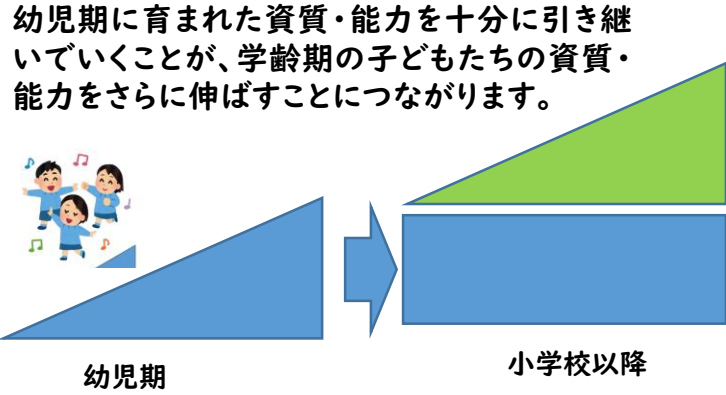
管理職同士のつながり
→各小学校区で目指す子どもの姿を共有する話し合い

連携推進担当者同士、交流担当者同士のつながり
→「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有し、相互の教育内容や指導方法の理解を深める

子ども同士のつながり
→双方の学習のねらいを達成することを目的とした互惠性のある交流の実施

幼保小接続リーフレットに「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を載せています。

今年は、コロナ禍で滞っていた連携・接続をもう一度動かし始めるチャンスだね！



先生方がつながることが、子ども達の資質・能力をつなぐ第一歩です。
お互いの教育を見て、感じることでできる顔の見える連携・接続を進めていきましょう！